

# JIS

## 計数值検査に対する抜取検査手順— 第2部：孤立ロットの検査に対する LQ指標型抜取検査方式

JIS Z 9015-2 : 1999

(2005 確認)

平成 11 年 5 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

今回の制定は、国際規格に整合させるために、ISO 2859-2 : 1985を基礎として用いた。

JIS Z 9015 : 1999は、一般名称を“計数值検査に対する抜取検査手順”として、次の各部によって構成される。

- 第0部：JIS Z 9015 抜取検査システム序論  
(Part 0 : Introduction to the JIS Z 9015 sampling system)
- 第1部：ロットごとの検査に対するAQL指標型抜取検査方式  
(Part 1 : Sampling schemes indexed by acceptable quality level (AQL) for lot-by-lot inspection)
- 第2部：孤立ロットの検査に対するLQ指標型抜取検査方式  
(Part 2 : Sampling plans indexed by limiting quality (LQ) for isolated lot inspection)
- 第3部：スキップロット抜取検査手順  
(Part 3 : Skip-lot sampling procedures)

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 11. 5. 20

官報公示：平成 11. 5. 20

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審議部会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部管理システム規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

|                              | ページ |
|------------------------------|-----|
| 序文.....                      | 1   |
| 1. 適用範囲及び適用分野 .....          | 1   |
| 1.1 適用範囲 .....               | 1   |
| 1.2 適用分野 .....               | 2   |
| 2. 定義 .....                  | 2   |
| 3. 抜取方式の選択 .....             | 3   |
| 3.1 抜取方式の規定 .....            | 3   |
| 3.2 抜取検査手順の選択 .....          | 3   |
| 3.3 手順A(付表Aを使用する) .....      | 3   |
| 3.4 手順B(付表Bを使用する) .....      | 3   |
| 3.5 抜取検査手順のためのパラメータの選択 ..... | 4   |
| 4. 合格及び不合格に対応するルール .....     | 4   |
| 4.1 サンプリング .....             | 4   |
| 4.2 合格 .....                 | 4   |
| 4.3 不適合品 .....               | 4   |
| 4.4 不合格及び再提出 .....           | 5   |
| 5. 2回及び多回抜取方式 .....          | 5   |
| 6. この規格の使用法の説明のための例 .....    | 5   |
| 6.1 手順Aの例 .....              | 5   |
| 6.2 手順Bの例 .....              | 5   |
| 7. JIS Z 9015-1との両立性 .....   | 6   |
| 7.1 総論 .....                 | 6   |
| 7.2 手順A(付表A参照) .....         | 6   |
| 7.3 手順B(付表B参照) .....         | 6   |
| 付表.....                      | 7   |
| 解説.....                      | 25  |

# 白 紙

# 計数値検査に対する抜取検査手順— Z 9015-2 : 1999

## 第2部：孤立ロットの検査に対する LQ指標型抜取検査方式

### Sampling procedures for inspection by attributes

#### Part 2 : Sampling plans indexed by limiting quality (LQ) for isolated lot inspection

**序文** この規格は、1985年に第1版として発行されたISO 2859-2, Sampling procedures for inspection by attributes Part 2 : Sampling plans indexed by limiting quality (LQ) for isolated lot inspectionを翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

JIS Z 9015-1はAQLを指標とする抜取検査方式である。この抜取検査方式はいろいろな場合に広く使用されているが、本来は連続シリーズのロットの検査のために設計されたもので、切替えルールが適用される。この切替えルールは、(きつい検査への切替え、また、さらに、検査の中止によって)消費者に対する保護を与える一方で、生産者に品質水準改善に対する刺激を与えることができる。しかしながら、JIS Z 9015-1の切替えルールが適用できない場合もいろいろある。その典型的なものが孤立状態にあるロットである。この規格はそういう場合に対して、JIS Z 9015-1を補足するために設計されたものである。

この規格の抜取方式は、限界品質(LQ)を指標としており、AQLは直接の指標としては使用しない。これはJIS Z 9015-1の限界品質保護のための特別手順との大きな相違点である。

この規格は次のような原則に基づいて作成された。

- LQを指標とする抜取方式は、AQLを指標とするJIS Z 9015-1の既存の抜取方式から容易に集積できる。
- LQの指標には、AQLの標準値と混乱しないように、異なるシリーズの標準値を使用する。
- 1回抜取方式の五つの基礎的数値、すなわち、ロットサイズ、サンプルサイズ、合格判定個数、AQL(又は生産者危険品質)及びLQが、可能な限り同じ表中に現れるようにする。

**参考** JIS Z 9015-1に対して、ISO/DIS 2859-1.2 : 1997(Sampling procedures for inspection by attributes Part 1 : Sampling plans indexed by acceptable quality level (AQL) for lot-by-lot inspection)が、一致している。

#### 1. 適用範囲及び適用分野

##### 1.1 適用範囲

この規格は、LQによる計数値合否判定抜取検査の抜取方式及び抜取検査手順について規定する。これらはJIS Z 9015-1と両立可能であり、JIS Z 9015-1の切替えルールが適用できないとき、例えばロットが孤立状態にあるときに使用する。

この規格の抜取方式は、限界品質(LQ)の標準値を指標にした抜取方式を与える；LQにおける消費者危険は通常は10%未満、悪くても13%未満である。JIS Z 9015-1の12.6で“非標準的”と示されている手順が、この方法では標準的手順として使えるようにしてある。

**備考1.** JIS Z 9015-1の抜取方式は、AQLの標準値のシリーズ及び検査水準を指標としている。連続シリーズのロットの検査期間中に切替えルールを適用すれば、そのシリーズのロットに対する工程平均が規定さ